

令和 7 年度
保安靴（短）仕様書

京都市上下水道局総務部職員課

1 適用範囲

本仕様書は、京都市上下水道局が調達する、着用者の足の保護と人体の静電気帯電が原因となって発生する災害及び障害を防止するために使用する保安靴（以下「靴」という。）について規定する。

2 メーカー品番

Q L－1 5 静電（ブラック）

3 数量

1 0 5 足（水道事業会計分と公共下水道事業会計分を合わせた数量）
（内訳）

サイズ	数量
2 5 . 5	1 0 足
2 6 . 0	1 5 足
2 6 . 5	4 0 足
2 7 . 0	2 5 足
2 7 . 5	1 5 足

4 形式

靴の形式は、マジック締めスニーカータイプ短靴とする（図－1）。

5 各部の名称及び主要材料

各部の名称は、表－5、図－1による。

主要材料は以下による。

(1) 甲被

甲被は、J S A A 1 0 0 1 の 9 . 9 に規定する甲被の試験方法によって試験したとき、表－1に適合した素材を用いる。

表－1

項 目	規 格
引張強度 N	1 2 0 以上

(2) 表底

表底（アウトソール）は、JIS T 8101:2006（安全靴）の表底の試験方法によって試験したとき、表－2に適合した合成ゴムを用いる。

表－2

項 目	規 格
引張強さ MPa	13以上
伸び %	300以上
引裂強さ N/cm	300以上
浸せき試験（体積変化率） %	20以下

(3) 甲縫糸

甲縫糸は、太さ及びより方は均等なもので、使用条件に適合した合成繊維糸を用いる。

(4) 先しん

先しんは、表面をすべて平滑に仕上げ、へり及び角に丸みをつけた樹脂製のものを用いる。

(5) 中底

中底は、柔軟性及び吸湿性のある合成材を用いる。

6 構造及び靴のサイズ

(1) 構造

靴の構造は、人体に帯電した静電気を表底から漏洩させる構造を有し、つま先部に強化樹脂先芯を装着し、アキレス腱保護の為に履き口部にクッションを取り付けた構造とし、表底は軽量でクッション性に優れた高反発性発泡EVAミッドソールと耐油性ラバーアウトソールの2層構造（アウトソール、ミッドソール）とし、耐滑性、屈とう性、泥づまり防止を加味した意匠とする。

(2) 靴のサイズ

靴のサイズは、JIS S 5037:1998（靴のサイズ）に規定するEEEを準用し、表－3のとおりとする。

表－3

単位：cm

22	22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	29	30
----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	----	----

7 完成品の性能

(1) 耐衝撃性及び耐圧迫性

靴の耐衝撃性及び耐圧迫性は、JIS T 8101：2006の衝撃及び圧迫試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(2) 表底のはく離抵抗

靴の表底のはく離抵抗は、JIS T 8101：2006の表底のはく離試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(3) かかと部の衝撃エネルギー吸収性

靴のかかと部の衝撃エネルギー吸収性は、JIS T 8101 : 2006 のかかと部の衝撃エネルギー吸収試験方法によって試験したとき、**表－4**に適合すること。

(4) 耐滑性

靴の耐滑性は、JIS T 8101 : 2006 の耐滑試験方法により試験したとき、**表－4**の規定に適合すること。

(5) 静電気帯電防止性

靴の帯電防止性能は、JIS T 8103 : 2010 の 9.1 によって試験したとき、測定値では 15 秒値と 1 分値の両方で、靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が**表－4**に適合すること。

また、JIS T 8103 : 1983 の第 2 試験方法によって試験したとき、靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が**表－4**に適合すること。

表－4

項 目	規 格	
耐衝撃性及び耐圧迫性 <u>試験条件：A種</u>	サイズ（足長）	すきま（mm）（※）
	23以下	12.5以上
	23.5～24.5	13.0以上
	25～25.5	13.5以上
	26～27	14.0以上
	27.5～28.5	14.5以上
	29以上	15.0以上
	※ すきま…中底と先しんとのすきま	
表底のはく離抵抗	200N以上	
かかと部の 衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが、20J以上	
耐滑性	動摩擦係数 0.2以上	
静電気帯電防止性	JIS T 8103：2010の9.1によって試験したとき、靴1個当たりの電気抵抗（R）が、測定温度23±2℃、指定された相対湿度（環境区分）において、 1.0×10 ⁵ ≤R≤1.0×10 ⁷ Ω（0.1≤R≤10MΩ） 測定温度0+2℃（相対湿度を定めない）において、 1.0×10 ⁵ ≤R≤1.0×10 ⁸ Ω（0.1≤R≤100MΩ）	
	JIS T 8103：1983の第2試験方法によって試験したとき、 靴1個当たりの電気抵抗（R）が、 1.0×10 ⁵ <R<1.0×10 ⁸ Ω（0.1<R<100MΩ）	

8 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、使用上有害な、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

9 検査及び試験

材料及び完成品についての検査は合理的な方法で行い、試験は JIS T 8101 : 2006 の規定により行う。

10 包装

1 足ずつ箱に入れ、10 足 1 箱にて梱包し、箱に型式、サイズ、納品日及び数量を表記する。

11 表示

(1) 製品

靴の甲被（べろ部）には、品名、サイズ、J S A A規格の名称及び種類、製造年月等を表示する。

靴の表底には、社標、サイズ等を容易に消えない方法で表示する。

(2) 個装箱

個装箱には、靴の品名、サイズ、取扱責任業者、J S A A規格の名称及び種類、(社) 日本保安品協会の推奨品マーク及び認定マーク等を表示する。

12 納入期限

契約決定後 90 日以内

13 納入場所

京都市上下水道局総合庁舎 5 階被服倉庫（京都市南区上鳥羽鉾立町 11 番地 3）

14 仕様書の疑義

その他疑義がある事項については、局の指示に従うものとする。

15 その他

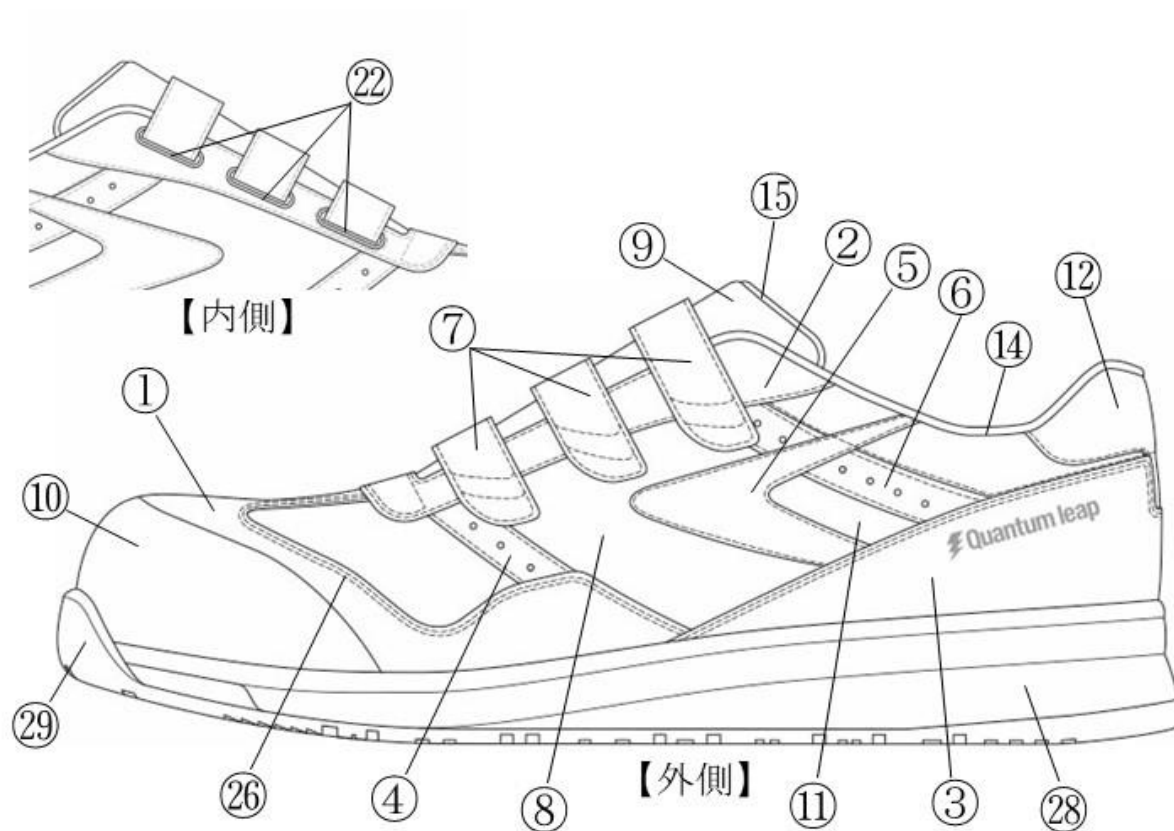
初期不良があった場合は、速やかに交換又は補修を行うこと。

表－５

単位 mm

No.	名 称	使 用 材 料	備 考
1	先 革	人工皮革 黒	厚さ 1.4 標準
2	はとめ革	〃 〃	〃
3	アウポケ	〃 〃	〃
4	サイド飾り革（前）	〃 〃	〃
5	サイド飾り革（中）		
6	サイド飾り革（後）		
7	バンド革	〃 〃	〃
8	腰 布	合成繊維メッシュ 〃	
9	べろ布	〃 〃	
10	トウガード	T P U 〃	厚さ 0.5 標準
11	サイド反射材	再帰性P V C反射材 〃	厚さ 1.0 標準
12	市 革	〃 〃	〃
13	先 裏	合成材 〃	
14	腰 裏	〃 〃	
15	べろ裏	合成繊維布 〃	
16	はとめ裏	〃 〃	
17	バンド裏	不織布 〃	
18	スベリ	人工皮革 灰	厚さ 1.0 標準
19	べろスポンジ	ウレタンスポンジ	厚さ 6.0 標準
20	履きロスポンジ	〃	厚さ 20 標準
21	面ファスナー	合成繊維 黒	
22	小判はとめ	合成樹脂製 〃	
23	月形しん	合成材	厚さ 2.0 標準
24	べろ裏タグ	〃	J S A A－A種
25	中 底	不織布＋帆布	
26	縫 糸	合成繊維糸 黒	#20 番手相当
27	先しん	強化樹脂製	
28	表底（ミッドソール）	E V A 黒	
29	表底（アウトソール）	耐油性合成ゴム 灰	表－２による
30	中 敷	合成材カップインソール 黒	抗菌・防臭加工

図－1 外観



図－2 底意匠

